

社長登壇

トップセミナー開催！

【特典付き】



石坂産業株式会社 2020年卒 採用特別講演会＆座談会

4.12 (fri) 14:00～16:00

私たちは、廃棄物処理だけでなく、里山保全、環境教育の推進、持続可能な農業の実践、、、循環型社会を実現するための技術開発と教育を通して、「自然と美しく生きる」ライフスタイルを提案する企業です。

石坂産業が描くビジョン、そのために現在取り組んでいることや、これから必要な視点を、代表の石坂典子が自らお話しします。

「考えるから、仕事は面白い。」

前例のない挑戦をしようとしている私たちには、新しいアイデアや発想が不可欠です。未来をデザインする私たちの本気の取り組みを、ぜひ五感を使って体感してしてください。

トップセミナー参加者だけの特典付き！

- セミナー参加者全員に、オリジナルQUOカード(1,000円分)プレゼント！
- 石坂社長とのランチミーティングにご招待！
本セミナーに参加いただいた方の中より、別日程で本社にて開催する、
社長とのランチミーティングにご招待！詳細はセミナー内でご案内いたします。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。



石坂産業株式会社 代表取締役

石坂 典子

【プロフィール】
1972年東京生まれ。1992年、父親が創業した石坂産業に入社し、2002年に社長就任。社員が「自分の子どもも働かせたい」と言える企業づくりを目指し、女性ならではの感性と斬新な知性で様々な経営改革に取り組んでいる。

これまでに『どんなマイナスもプラスにできる 未来教室』(PHP研究所、2017年)など3冊の著書を発刊している。

【受賞歴】
2018年日刊工業新聞社優良経営者顕彰「第35回記念特別賞」「優良経営者賞」、平成30年度 財界「経営者賞」、2018年エイボン女性年度賞「ソーシャル・イノベーション賞」など

つくろう。
未来のエネルギーを
廃棄物から、

ごみにしない技術を貫き、廃棄物を資源に変えてきた私たちは、先へ行く。
ロボットによる選別技術の開発。工場の振動や集塵機から出る排風で発電。再資源化の面から、リサイクルしやすい素材の提案。土壤分析による農業土壤の改良。世界に向けた環境教育の発信。
産業廃棄物処理業は、やがてエネルギーをつくる業界へ。

自然と美しく生きる

ISHIZAKA

<石坂産業株式会社 トップセミナー>

[日時] 4月12日(金)14:00～16:00

※20分前より受付開始

[会場] 赤坂インターシティ コンファレンス 402会議室
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

[申込方法]

マイナビ2020またはFuture Finderよりお申込みください
マイナビ2020はこちらから▶



● 石坂産業株式会社 採用窓口 ●

採用やトップセミナーについて、質問やご不明点があれば
お気軽にお問い合わせください！

メールアドレス: saiyo@ishizaka-group.co.jp
石坂産業コーポレートサイト: www.ishizaka-group.co.jp

〒354-0045

埼玉県入間郡三芳町上富1589-2

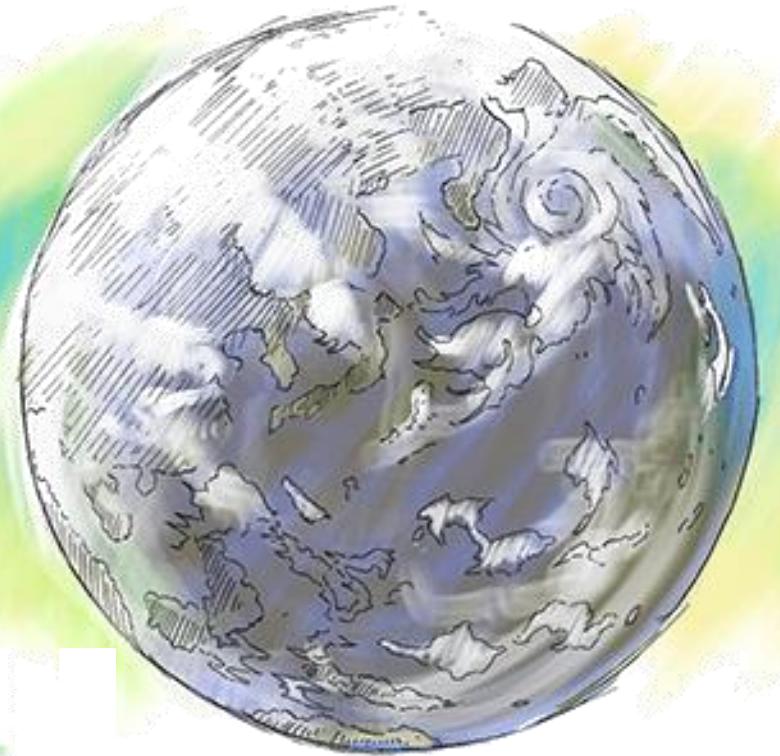
ISHIZAKA



目指すのは、すべての廃棄物を資源に戻し、減量化・リサイクル化率100%を実現すること。そのための技術革新に全力を挙げて取り組みます。国内外の同じ志を持つ民間企業や行政機関、研究機関と提携し、イノベティブな取り組みを積極的に推進。鉱物や石油といった地下資源には限界がある。だからこそ「地下資源から地表資源への転換」というイノベーションが今まさに必要だと考えています。私たちは資源の再生を通じて「エネルギー供給企業」となることを目指しています。



石坂産業の東京ドーム約4個分の敷地には、生物多様性を評価する「JHEP認証」国内最高ランク“AAA”を取得した「くぬぎの森」があります。かつて不法投棄の森だったこの里山を、体験型の環境教育のメッカへ。自然とふれあい、自然やモノを大切にする心を育てることで「自然と共生する、つぎの暮らしをつくる」ロールモデルを創出します。



ISHIZAKAのブランドは社員。一人ひとりが強みを活かし、理念を体現しながら会社と共に社員も成長していく企業、自分たちの仕事に誇りを持って働いていく企業であり続けます。

“石坂イズム”をつなぎ、そこに新たな風を巻き起こすため、志を持った仲間と働きたい。石坂産業がどこまで本気なのか、ご自身の目で確かめてみてください。



環境問題は世界の課題ですから、国を超えて意見交換をしながら行動していきたい。こうした考えから、開かれた研究棟“オープンラボ”的構想もあります。オープンラボで研究開発した技術から、廃棄物のリサイクルや、化学物質を含まない再生可能なもののづくりが生まれることを目指して。真の循環型社会に必要なスタイルが広まる起点になりたいと考えています。